

角田千枝

交通安全未来創造ラボ 特別研究員

相模女子大学学芸学部生活デザイン学科 教授



プロフィール

文化服装学院を卒業後、パタンナーとして様々なアパレルブランドに携わってきた実務家教員。安心・安全な日常生活のための衣服設計をテーマとし、視認性の高い衣装提案や、一般市民向けの防災服の開発を目指しています。再帰性反射材の普及を目的としたワークショップやファッションショーを開催しており、制作衣装は各地の警察や自治体主体の交通安全イベントでも活用されてきました。

本ラボでのテーマは「おしゃれ × 安全」です。歩行者の服装色に関するアンケート調査や、フィギアと実車による視認性評価実験など、ドライバーからの歩行者の見え方に関する研究に取り組んでいます。また、その研究結果を基に、本ラボのホームページやファッションショーの公演を通して、外出することが楽しくなるおしゃれでありながら安全性にも考慮したファッションやコーディネートを提案しています。



屋外における衣服の見え方の
実験風景(輝度計測)



制作衣装の公開:2023 交通安全企画
ファッションショー「CCC」

交通安全未来創造ラボ

NISSAN
MOTOR CORPORATION

昼間に目立っていた服装が夜には見えにくくなる？

歩行者の服装色に関するフィギアによる視認性評価実験

モノトーン編

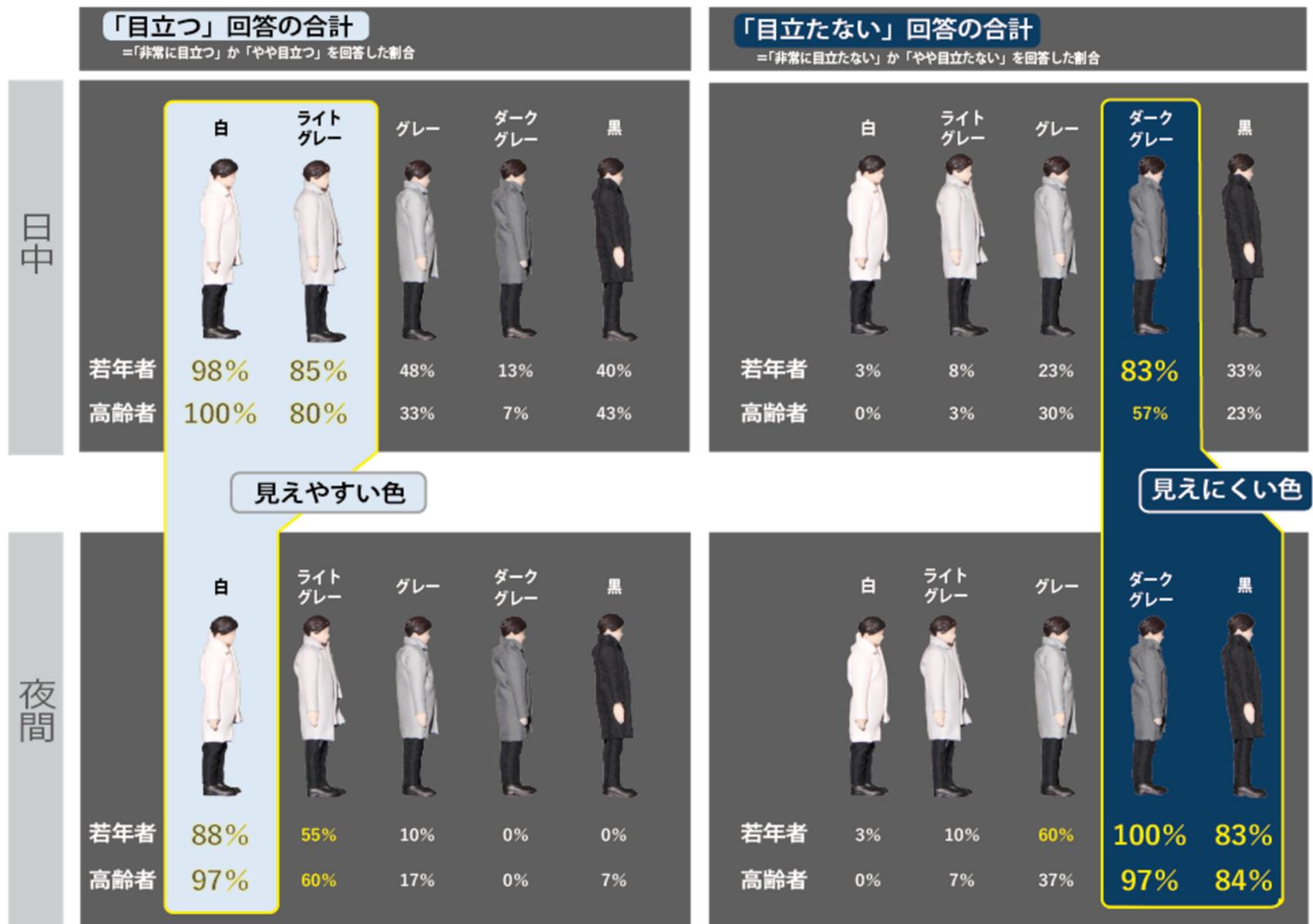
服の色によっては車から見えにくい？

ふだん私たちの着ている服の色はクルマから見えやすいと言えるのでしょうか？モノトーンの服装を着た道路にいる歩行者について、日中と夜間、そして若年者と高齢者によって、「見えやすさ」がどう違うかについて調査してみました。

結果は ...

「見えやすい色」は、日中は白とライトグレーで、夜間は白のみ。

「見えにくい色」は、日中はダークグレー、夜間はダークグレー以外に、黒も見えにくいという回答が多くありました。



ポイント

最近多くの人に好まれるようになった黒やダークグレーの服装は、ドライバーからは気づきにくいことがわかりました。

昼間に目立っていた服装が夜には見えにくくなる？

歩行者の服装色に関するフィギアによる視認性評価実験

有彩色編

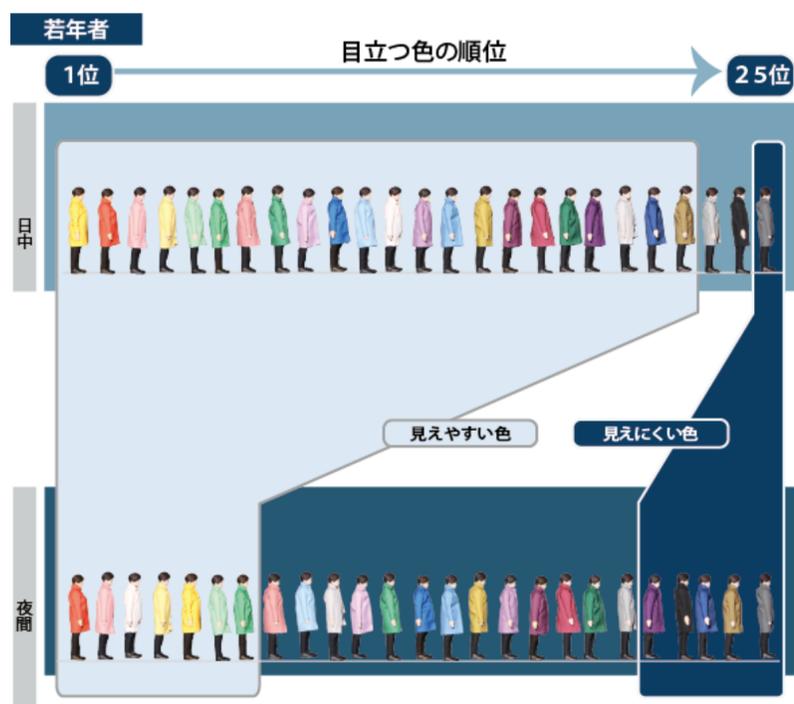
昼と夜で色の「見えやすさ」が変わる！

有彩色の服装を着た道路にいる歩行者について、「見えやすさ」がどう違うかについて調査してみました。

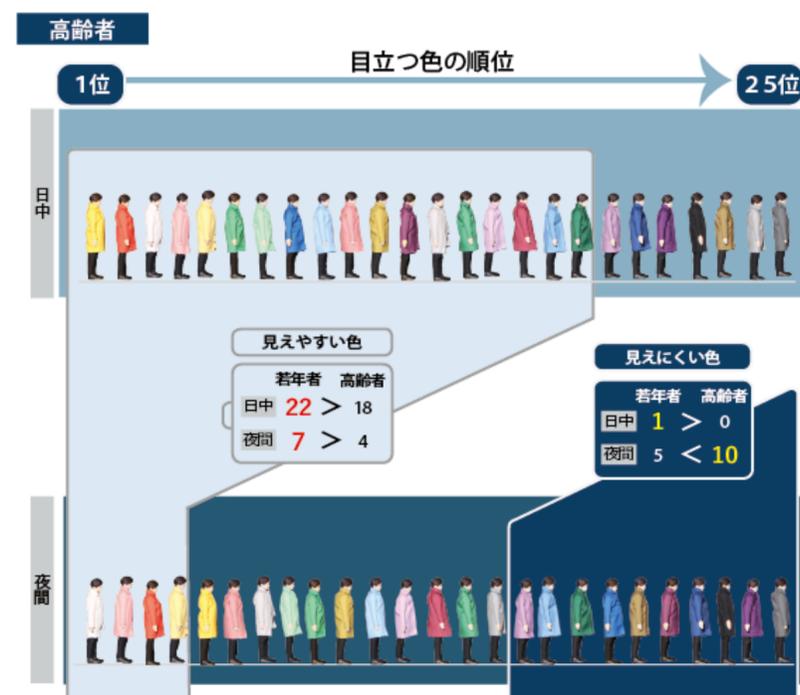
昼間は色味の強い鮮やかな色の服が、夜間は白っぽい明るい色の服が、ドライバーから見えやすいことが分かりました。夜間に「見えにくい色」は暗い色でした。

夜間に「見えにくい色」は、高齢ドライバーは若者より2倍多く、夜間は高齢ドライバーの方が歩行者がいることに気づきにくいと考えられます。

若者ドライバー



高齢ドライバー



ポイント

モノトーンでも有彩色でも、ドライバーから見えやすい色のアイテムを加えることで、より安全に配慮したファッションを楽しむことができます。

ドライバーから見えやすい



交通安全未来創造ラボ

レポート制作：相模女子大学 角田千枝特別研究員（相模女子大学学芸学部生活デザイン学科教授）

共同研究：北里大学(医療衛生学部)/お茶の水女子大学(生活科学部) サポート：日産自動車

NISSAN
MOTOR CORPORATION